

学年	3	週単位時間数	1	年間単位時数	35	授業集団	学年	使用教室	理科技術室
資質・能力	(情) 情報を収集する力 (コ) コミュニケーション力 (他) 他の人を理解する力 (自) 自己を理解する力 (協) 協働する力 (地) 地域で生活する力								
目標	① 知識及び技能 ② 思考力・判断力・表現力等 ③ 学びに向かう力、人間性等								
① 将来の社会生活に向けて、必要な知識や技能を身に付ける。									
② 将来の社会生活を見据え、自分に必要な事柄や課題を見出し、解決策を考える力を養う。									
③ よりよい社会生活の実現に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。									

学習計画			
月	学習内容(何を学ぶか) 関連する資質・能力の表示 関連教科は★付けて表示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)
4月	「オリエンテーション」(自)(情) ★国語	・1年間の学習に見通しをもつ。 ・学習予定に見通しをもち、期待感を高める。	○ICT 機器を活用し、適宜展開する。(スプレッドシート、サファリなど) ○各単元の展開 ・外部講師や卒業生などを講師として招待し、働く現場の生の話を聞くことで、将来の生活の具体的なイメージをもてるようにする。
5月	「身に付けてほしい力」(自)(情) ★国語 社会 数学 家庭科	・進路面談で進路先について自分の思いや将来の見通しをしっかりと伝え、現場実習の心構えを持つことができる。 ・自己診断シートを作成し、客観的に自己の特性を知る。	
6月	「自分の強みと弱みの明確化」(自)(情)	・作成した自己診断シートを元に自分の強みと弱みを知り、弱みの部分の克服に向けて具体的な方法を考えることができる。	
7月	「将来の自分」(自)(情)(地) ★国語 社会	・卒業後の自分をイメージすることができる。	
8月	「現場実習」(自)(情)(他)(地) ★国語 社会 数学 家庭科	・事前面接や決意発表会等で、自分の意気込みや働く姿勢を言語化し、他者に伝えることができる。 ・現場実習を通して卒業後の生活をイメージすることができる。 ・現場実習を振り返り、卒業までの間にどのような力が必要か知り、取り組むことができる。	
11月	「社会人になるための心構え」(自)(情)(他)(地) ★国語 社会	・本校卒業生の就労の様子についての話を聞き、自分の将来の姿を具体的に捉えることができる。	・自己の適正や将来の社会生活に向けて、話し合う機会を設定し、意見を出し合いまとめるようにする。 ・現場実習における事前学習では、目標の設定を行い、実習後に成果や課題についてまとめ、将来の進路決定につなげる。
12月	「履歴書作成」(自)(情) ★国語	・履歴書のもつ意味と書き方理解することができる。 ・自分の長所・短所や特技について整理することができる。	・履歴書作成に関しては、国語科と連動し、個々の生徒の実態に合った学習をする。
2月	「自分の進路先を知ろう」★国語 社会	・自分の進路先の代表者、企業(事業所)が大事にしていること(社訓など)等を知る。	
3月	「3年間のまとめ」 ・同窓会入会式 ★国語 社会	・3年間で自分が成長したこと、課題について振り返り、自信を持って社会生活に臨む気持ちを持つことができる。	

評価の観点	① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力等	③ 学びに向かう力、人間性等
① 将来の社会生活に向けて、必要な知識や技能を身につけることができたか。 ② 将来の社会生活を見据え、自分に必要な事柄や課題を見だし、解決策を考える力を養うことができたか。 ③ よりよい社会生活の実現に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養うことができたか。			